



# 知的障害者インクルージョン実践セミナー2026

—海外の実践に学ぶ、支援の考え方と手法—

## 【第3回】「障害者支援施設（入所施設）について」

**7.4 土**  
13:00 - 17:00

参加費  
**無料**

会場定員  
先着**200**  
名

### 講師

#### ミラン・シュヴェジェパ氏

37カ国の知的障害者とその家族を代表する団体「Inclusion Europe」のチーフエグゼクティブ。脱施設化の専門家として、欧州各国の政府や団体と連携し、制度改革や地域移行政策を推進。「地域移行に関する欧州専門家グループ」共同議長も歴任。脱施設化に関する執筆・講演活動も多数行っている。欧州議会での専門家ヒアリング等にも登壇し、知的障害者の権利擁護にも取り組んでいる。



### プログラム

13:05 講演 (60分)

#### 『欧州における「脱施設化」の実践と成果』

- ・ 欧州における脱施設化政策とその背景
- ・ 入所施設から地域生活への移行プロセス
- ・ 脱施設化後に見えてきた課題と地域支援の現実
- ・ 重度知的障害者の地域生活を支える仕組み
- ・ 欧州の実践から考える日本の入所施設の在り方

14:20 パネルディスカッション(80分)

#### 「脱施設化」は本当に知的障害者と家族を救うのか～日本の入所施設の未来を考える～

- ・ ミラン・シュヴェジェパ氏 Inclusion Europe チーフエグゼクティブ
- ・ 古川 慎治氏 (独) 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 理事
- ・ 釘宮 謙悟氏 (福) 博愛会 副理事長・第二博愛寮 施設長
- ・ 小野寺 徳子氏 元厚生労働省 障害者雇用対策課 課長

15:55 質疑応答 (30分)

※事前質問／当日質問への回答

16:30 ネットワーキング (30分)

※各プログラムの中に15分間の休憩を設けます  
※会場外にミネラルウォーターをご用意しております

### パネリスト

#### 司会進行



小野寺 徳子氏  
元厚生労働省  
障害者雇用対策課長



古川 慎治氏  
(独) 国立重度知的障害者  
総合施設のぞみの園 理事



釘宮 謙悟氏  
(福) 博愛会 副理事長  
第二博愛寮 施設長

**対象** 当事者・家族、支援者 (団体・行政・学生等)

**会場** 笹川平和財団ビル11階 国際会議場  
(東京都港区虎ノ門1-15-16)

**補足** オンライン参加可／リアルタイム字幕あり

**申込方法** ▶ 二次元コードを読み込みフォームを入力してください

**申込期限** ▶ 2026年6月30日(火) ※会場参加  
オンラインは7月3日(金)

**その他** ▶ 当日は20分前までに会場へお越しください



# 知的障害者インクルージョン実践セミナー2026 — 海外の実践に学ぶ、支援の考え方と手法 — 〈ラインナップ（予定）〉

Lineup of the Seminar Series

実施済

1



## 知的障害者の社会参加

日本では、就労、地域活動や政策形成を含む政治参加など、知的障害者の社会参加は依然として限定的な状況にあります。当事者参画を制度の中核に据えるニュージーランドの実践から、「参加を当たり前にする」仕組みを学び、議論しました。

※ニュージーランド障害者省  
Matthew Frost 氏を招聘

実施済

2



## 知的障害者の地域移行

日本では、知的障害者のうち64%が親との同居を続けています。また、入所施設待機者数は2万人を超えていると言われています。ニュージーランドにおける障害福祉サービス、知的障害者の地域移行に関する施策および実践を学び、議論します。

※ニュージーランドより  
ドナルド・ビズリー研究所  
安積宇宙氏を招聘

3



## 障害者入所施設

日本では、入所施設が依然として重要な役割を担う一方、国連障害者権利委員会から指摘を受けており、国も入所者数の縮減に向けた政策を進めています。脱施設化を進めてきた海外の動向も踏まえ、これからの日本の入所施設の在り方を考えます。

※欧州よりInclusion Europe  
ミラン・シュヴェジェパ氏を招聘

4



## グループホーム

日本では、グループホームの量的拡大が進む一方、支援の質や重度知的障害者への受け入れ、利用所の意思決定の尊重など様々な課題も指摘されています。海外の事例や取り組みをもとに、「暮らしの場」としてのグループホームの在り方を考えます。

※ニュージーランドより  
IHC New Zealand CEO  
アンドリュー・クリスプ氏を招聘

5



## 一人暮らし

日本では、知的障害者の一人暮らし（重度訪問介護利用）はまだ限られた選択肢です。障害者の人権と意思決定を尊重し、一人暮らしを前提に支援を組み立てる海外の制度と実践から、本人の希望を尊重した暮らしの可能性を学びます。

※スウェーデンより  
ヘレナ・カルンストローム氏を招聘

6



## 「親なきあと」問題 と家族ケア

日本では、障害者の家族のうち約9割が「親なきあと」（高齢化・不在となった後）に不安を感じています。知的障害者の支援において、「親だけに依存しない支援」を社会全体で支える仕組みを海外から学び、議論します。

※スペインより有識者を招聘予定

日本財団 | 障害者の「親なきあと」サポートプロジェクト

お問い合わせ：「知的障害者インクルージョン実践セミナー2026」運営事務局  
メールアドレス：support@ideft.jp

※本セミナーのトピックおよび内容は、変更となる場合がございます。

